

得点		演習問題	実施日	月 日	氏名	
		ヨーロッパの発展 ②				

【1】次の文を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

古代のローマ帝国がほろんだのち、ヨーロッパ全体を支配する国はなくなり、多くの国々が成立した。その中で a キリスト教会は、各国の王や貴族などと結び、大きな力をもつた。このうち、西ヨーロッパでは、b ローマ教皇(法王)を頂点とする教会が、人々を精神的に支えるようになった。

一方、7世紀にアラビア半島で(①)が開いたイスラム教は、西アジアから北アフリカ、ヨーロッパのイベリア半島などに広がり、その勢力は大帝国を築いた。11世紀にはこうしたイスラム勢力により聖地(②)が支配され、巡礼がさまたげられているとして、(③)を取りもどすことを教皇が呼びかけ、これに応じて c 西ヨーロッパ諸国の王や貴族たちは軍隊を派遣した。派遣は13世紀まで行われ、結局失敗に終わったが、これをきっかけに東西の交流が活発化し、イスラムの文化がヨーロッパにさまざまな影響をあたえることになった。

- (1) (①)にあてはまる人名と、(②)にあてはまる地名を何といいますか。 ①() ②()
- (2) 下線部 a のうち、コンスタンティノープルを総本山とし、ビザンツ帝国と結びついた教派を何といいますか。 ()
- (3) 下線部 b を何といいますか。 ()
- (4) 下線部 c の軍隊を何といいますか。 ()

【2】次の文を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

A 古代ギリシャの哲学や科学は、アラビア語に翻訳され、イスラム世界に伝えられていたが、東西の交流が活発化し、イスラムの物産や文化が流入するのにともない、ギリシャ、ローマの古代文明がふたたび西ヨーロッパにもちこまれることになった。その結果、人間性を重視した新しい文化が生まれ、芸術や科学が発達することになった。

B 16世紀前半、ドイツ人(①)は、教会が行っていた(②)発行に抗議する意見書を発表し、多くの人々の支持を得た。(①)はまた、「人は信仰のみによって救われる」として、(③)の教えに立ち返ることを主張した。同じころ、フランス人の(④)も、それまでの教会のあり方を批判し、これを改革する運動を進めた。(①)や(④)を支持する人々は(⑤)と呼ばれ、カトリック教会とは別の教会を組織することになった。

- (1) A の文で述べられている動きは、忘れられていた古代の文芸が復興(再生)したという意味から、何といいますか。 ()
- (2) A の動きが最も早くおこった国はどこですか。 ()
- (3) A の時代に広まった、航海術の発展に大きく貢献したものを、次のア～エから1つ選びなさい。 ()
- ア 活版印刷 イ 羅針盤 ウ 火薬 エ 紙
- (4) B の文で述べられている動きを何といいますか。 ()
- (5) B の文中の①、④にあてはまる人名をそれぞれ答えなさい。 ①() ④()

(6) B の文中の②、③、⑤にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

②() ③() ⑤()

(7) (4)の動きに対抗して、カトリック教会の内部でも改革の動きが見られた。このうち、スペインでロヨラやザビエルらによって結成された組織を何といいますか。 ()

【3】次の文を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

アジアとの貿易は、長い間、イスラム商人によって独占されていたためヨーロッパの人々はアジアと直接貿易を行い、アジアの物産、特に(A)を手に入れるなどを強く望んだ。こうした背景に加え、航海術が進歩したこともあり、15～16世紀には B ヨーロッパからアジアなどに向かう新しい航路が開拓された。

やがて(①)は、ゴアやマカオなどを拠点として中継貿易を行い、日本とも貿易を行うようになった。一方、(②)はアメリカ大陸に進出し、その大部分を植民地とともに、c ヨーロッパ、アフリカ、アメリカの各大陸で貿易を行って大きな利益をあげた。そして(②)は、アジアでもフィリピンに進出するなど、世界各地に勢力を広げた。しかし、17世紀になると、(②)から独立した(③)がヨーロッパの貿易や金融の中心地となり、東インド会社を設立してアジアにも進出するようになった。

- (1) 文中の(A)に最もよくあてはまる品目を、次のア～エから1つ選びなさい。 ()

ア 銀 イ 香辛料 ウ 縹織物 エ 陶磁器

- (2) 文中の①～③にあてはまる国名を、それぞれ何といいますか。 ①() ②() ③()

- (3) 下線部 B について、次のア～ウにあてはまる人名をそれぞれ何といいますか。

ア 1492年、大西洋を横断してカリブ海の島に到着した。その後も2回にわたり、新大陸に渡ったが、彼自身はそこがインド(アジア)の一部だと信じていた。 ()

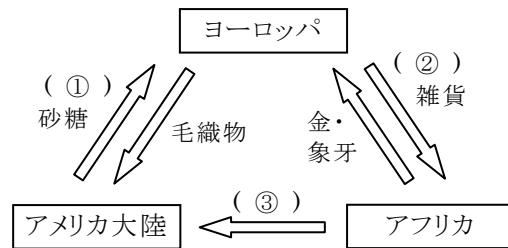
イ 1498年アフリカ南端を回る航路を通じてインドに到着した。これをきっかけに、ヨーロッパから直接アジアに向かう航路がさかんに利用されるようになった。 ()

ウ 1519年、西まわりの航路で世界周航に出発した。彼自身はフィリピンで戦死したがその部下たちは3年がかりで世界一周に成功した。 ()

- (4) 下線部 C について、下の図はこの貿易のしくみを表したものである。図中の①～③にあてはまる品目を、次のア～エから1つずつ選びなさい。

①() ②() ③()

ア 銀 イ 奴隸 ウ 茶 エ 武器



得点		演習問題【解答】	実施日	月 日	氏名
		ヨーロッパの発展 ②			

【1】次の文を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

古代のローマ帝国がほろんだのち、ヨーロッパ全体を支配する国はなくなり、多くの国々が成立した。その中で a キリスト教会は、各国の王や貴族などと結び、大きな力をもつた。このうち、西ヨーロッパでは、b ローマ教皇(法王)を頂点とする教会が、人々を精神的に支えるようになった。

一方、7世紀にアラビア半島で(①)が開いたイスラム教は、西アジアから北アフリカ、ヨーロッパのイベリア半島などに広がり、その勢力は大帝国を築いた。11世紀にはこうしたイスラム勢力により聖地(②)が支配され、巡礼がさまたげられているとして、(②)を取りもどすことを教皇が呼びかけ、これに応じて c 西ヨーロッパ諸国の王や貴族たちは軍隊を派遣した。派遣は13世紀まで行われ、結局失敗に終わったが、これをきっかけに東西の交流が活発化し、イスラムの文化がヨーロッパにさまざまな影響をあたえることになった。

- (1) (①)にあてはまる人名と、(②)にあてはまる地名を何といいますか。 ①(ムハンマド) ②(エルサレム)
- (2) 下線部 a のうち、コンスタンティノープルを総本山とし、ビザンツ帝国と結びついた教派を何といいますか。 (正教会)
- (3) 下線部 b を何といいますか。 (カトリック教会)
- (4) 下線部 c の軍隊を何といいますか。 (十字軍)

【2】次の文を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

A 古代ギリシャの哲学や科学は、アラビア語に翻訳され、イスラム世界に伝えられていたが、東西の交流が活発化し、イスラムの物産や文化が流入するのにともない、ギリシャ、ローマの古代文明がふたたび西ヨーロッパにもちこまれることになった。その結果、人間性を重視した新しい文化が生まれ、芸術や科学が発達することになった。

B 16世紀前半、ドイツ人(①)は、教会が行っていた(②)発行に抗議する意見書を発表し、多くの人々の支持を得た。(①)はまた、「人は信仰のみによって救われる」として、(③)の教えに立ち返ることを主張した。同じころ、フランス人の(④)も、それまでの教会のあり方を批判し、これを改革する運動を進めた。(①)や(④)を支持する人々は(⑤)と呼ばれ、カトリック教会とは別の教会を組織することになった。

- (1) A の文で述べられている動きは、忘れられていた古代の文芸が復興(再生)したという意味から、何といいますか。 (ルネサンス)
- (2) A の動きが最も早くおこった国はどこですか。 (イタリア)
- (3) A の時代に広まった、航海術の発展に大きく貢献したものを、次のア～エから1つ選びなさい。 (イ)
- ア 活版印刷 イ 羅針盤 ウ 火薬 エ 紙
- (4) B の文で述べられている動きを何といいますか。 (宗教改革)
- (5) B の文中の①、④にあてはまる人名をそれぞれ答えなさい。 ①(ルター) ④(カルバン)

(6) B の文中の②、③、⑤にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

②(免罪符) ③(聖書) ⑤(プロテスタント)

(7) (4)の動きに対抗して、カトリック教会の内部でも改革の動きが見られた。このうち、スペインでロヨラやザビエルらによって結成された組織を何といいますか。 (イエズス会)

【3】次の文を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

アジアとの貿易は、長い間、イスラム商人によって独占されていたためヨーロッパの人々はアジアと直接貿易を行い、アジアの物産、特に(A)を手に入れるなどを強く望んだ。こうした背景に加え、航海術が進歩したこともあり、15～16世紀には B ヨーロッパからアジアなどに向かう新しい航路が開拓された。

やがて(①)は、ゴアやマカオなどを拠点として中継貿易を行い、日本とも貿易を行うようになった。一方、(②)はアメリカ大陸に進出し、その大部分を植民地とともに、c ヨーロッパ、アフリカ、アメリカの各大陸で貿易を行って大きな利益をあげた。そして(②)は、アジアでもフィリピンに進出するなど、世界各地に勢力を広げた。しかし、17世紀になると、(②)から独立した(③)がヨーロッパの貿易や金融の中心地となり、東インド会社を設立してアジアにも進出するようになった。

- (1) 文中の(A)に最もよくあてはまる品目を、次のア～エから1つ選びなさい。 (イ)

ア 銀 イ 香辛料 ウ 縹織物 エ 陶磁器

- (2) 文中の①～③にあてはまる国名を、それぞれ何といいますか。 ①(ポルトガル) ②(スペイン) ③(オランダ)

- (3) 下線部 B について、次のア～ウにあてはまる人名をそれぞれ何といいますか。

ア 1492年、大西洋を横断してカリブ海の島に到着した。その後も2回にわたり、新大陸に渡ったが、彼自身はそこがインド(アジア)の一部だと信じていた。 (コロンブス)

イ 1498年アフリカ南端を回る航路を通じてインドに到着した。これをきっかけに、ヨーロッパから直接アジアに向かう航路がさかんに利用されるようになった。 (バスコ・ダ・ガマ)

ウ 1519年、西まわりの航路で世界周航に出発した。彼自身はフィリピンで戦死したがその部下たちは3年がかりで世界一周に成功した。 (マゼラン)

- (4) 下線部 C について、下の図はこの貿易のしくみを表したものである。図中の①～③にあてはまる品目を、次のア～エから1つずつ選びなさい。

①(ア) ②(エ) ③(イ)

ア 銀 イ 奴隸 ウ 茶 エ 武器

